

ウェザーニュース、2019年「桜の振り返り調査」の結果を発表
開花後の気温が桜の見栄えに影響、関東では4人に3人が「まだら咲き」を実感
～見頃期間が長くお花見チャンスは増加、お花見回数トップは高知県の2.4回～

株式会社ウェザーニュース(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、スマホアプリ「ウェザーニュース」(旧「ウェザーニュースタッチ」)を通して「桜の振り返り調査」を実施し、その結果を発表しました(調査期間:西・東日本:4月12日～13日、4月15日～19日、北日本:5月8日～12日)。全国のべ38,511人の回答をまとめた結果、今年は桜の見頃期間が“長かった”と感じた方が6割を超え、平均お花見回数は1.6回となりました。実際の見頃期間を見てみると、関東・甲信・北陸・西日本で今年は例年よりも見頃期間が長く、上野公園(東京)では見頃期間が例年の2倍近くになりました。

見頃が長かった一方で、「桜の咲き方がまだらだった」という声が多く聞かれ、関東では4人に3人が「まだら咲きしている」と感じていたことがわかりました。理由の一つとして、開花後の寒の戻りが挙げられます。開花前の3月中旬は平年よりも暖かい日が続き、桜のつぼみは順調に開花を迎えたものの、開花後は数度に渡って強い寒気が流れ込んだ影響で、桜の生長は緩やかに進みました。このため、今年は長い期間桜を楽しむことができた一方で、まだらな咲き方になってしまったと考えられます。

本調査結果の詳細は、スマホアプリ「ウェザーニュース」やウェブサイトで公開するとともに、今後のサービスに活用していきます。

ポイント

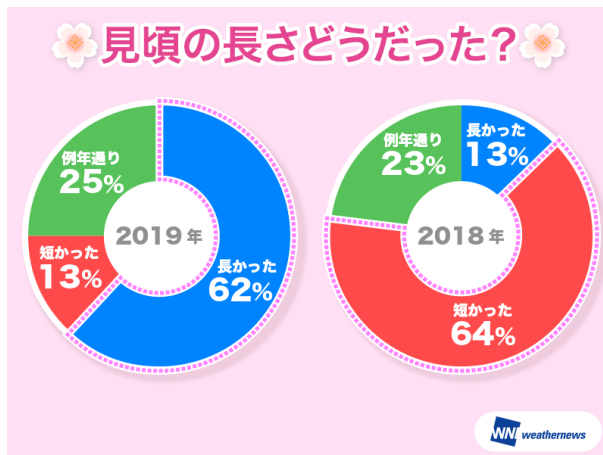
- ・見頃期間が長くお花見チャンスは増加、お花見回数は全国平均1.6回、トップは高知県の2.4回
- ・開花後の気温が桜の見栄えに影響、長持ちの一方、関東では4人に3人が「まだら咲き」を実感

本プレスリリースの素材のダウンロード		2019年「桜の振り返り調査」はこちら
ウェブ版プレスリリース「桜の振り返り調査」 https://jp.weathernews.com/news/27575/	スマホアプリ「ウェザーニュース」をダウンロード後、「おしらせ」にアクセス	ウェブサイト「桜の振り返り調査」 https://weathernews.jp/s/topics/201905/210145/

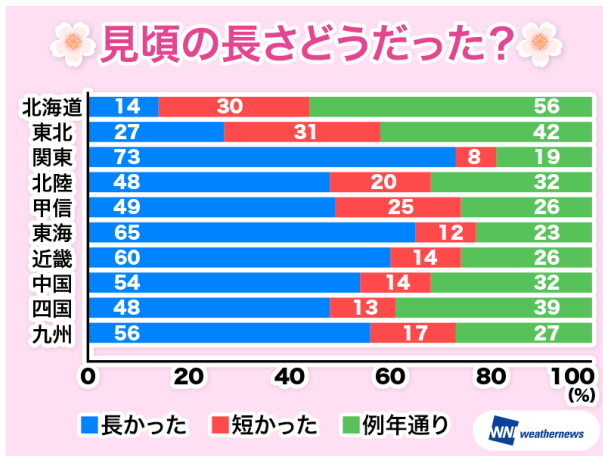
◆今年の見頃期間の特徴

～今年は桜が長持ちだった？上野公園では見頃期間が例年の2倍近くに～

今年の桜の見頃期間の特徴を調べるため、スマホアプリ「ウェザーニュース」を通じて、「見頃の長さどうだった？」と質問し、全国のウェザーニュース会員に“長かった”“例年通り”“短かった”から選択していただきました。全国7,685人の回答を集計した結果、今年は桜の見頃が“長かった”と回答した方が全体の6割を超え、“短かった”と回答した方が6割を超えていた昨年とは対照的な結果となりました。地域別で見ると、西日本や東日本では“長かった”という回答が多数派となり、特に関東地方では7割を超える方が“長かった”と感じたことがわかります。一方北日本では、“長かった”と答えた方は少数派で、“短かった”と答えた方が“長かった”と答えた方を上回る結果となりました。



実際の見頃期間の長さを見てみると、東海を除く東日本と西日本で例年よりも長く、関東では例年よりも 3 日長い見頃期間でした。上野公園(東京)では、例年の見頃期間が 5.4 日間のところ、今年は 10 日間と 2 倍近くの長さとなり、皆さんの感じたように今年桜の見頃期間が長かったと言えます。



見頃期間の長さ

	例年	今年	昨年
全国	6.1	7.5	7.0
北海道	7.1	7.0	8.5
東北	7.1	6.3	8.2
関東	5.7	8.7	5.4
甲信	7.9	10.0	8.5
北陸	7.1	8.5	7.0
東海	6.6	5.8	8.5
近畿	5.2	7.8	6.0
中国	5.0	5.8	6.0
四国	5.0	6.8	6.0
九州	5.8	8.7	7.9

※見頃期間: 各都道府県が“見頃シーズン”に入った日から、“桜吹雪シーズン”に入った日までの期間

見頃シーズン: 9 割が開花、3 割が満開を迎えた日

桜吹雪シーズン: 散り始め+葉桜の割合が、満開+もうすぐ満開の桜の割合を上回った日

～見頃が長い分、お花見チャンスが増加、平均お花見回数は 1.6 回～

お花見に行った回数を尋ねてみると、全国平均は 1.6 回となり、2014 年の調査結果、全国平均 1.2 回よりも 0.4 回多い結果となりました。都道府県別に見てみると、最も多くお花見に行ったのは高知県で 2.4 回、次いで山形県が 2.2 回、佐賀県が 2.1 回、島根県が 2.0 回となりました。山形県以外では、例年よりも 1～4 日見頃期間が長く、見頃期間が長かったことがお花見回数が増えた一つの要因と考えられそうです。山形県の今年の見頃期間は 8 日間と例年並で、昨年よりも 4 日少ない日数でしたが、2014 年の調査でも 2 番目にお花見回数が多かったことから、お花見好きな方が多い県と言えるかもしれません。



◆今年の桜のキレイ度は?

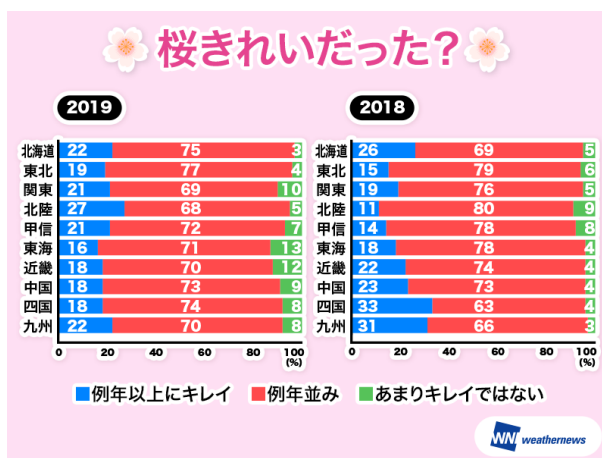
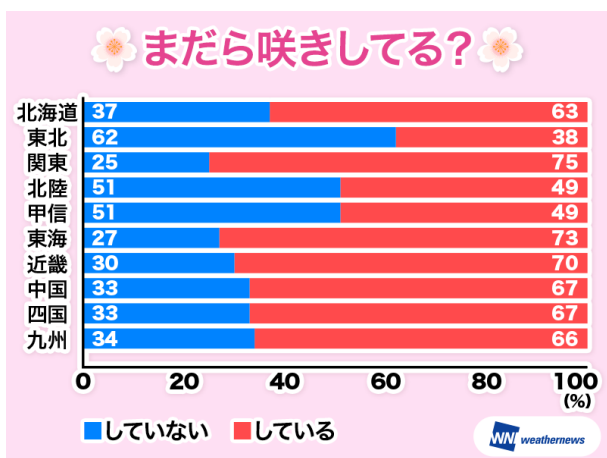
～関東では 4 人に 3 人がまだら咲きを実感～

今年の桜は長く楽しめたという声がある一方で、「咲き方がまだらだった」という声も多く聞かれました。そこで、今年の桜がまだら咲きだったかどうかを“している”“していない”の 2 択で回答していただきました。全国 6,823 人の回答を集計した結果、関東や東海、西日本で“まだら咲きしている”という回答が多数派となり、関東では“まだら咲きしている”と回答した方が 75%と、4 人に 3 人がまだら咲きを実感していたことがわかりました。一方東北をはじめ、北陸や甲信では“まだら咲きしていない”と回答した方が多く、地域によって咲き方に差があったことがわかります。



千葉県習志野市・4 月 13 日 撮影:「カエデ」さん

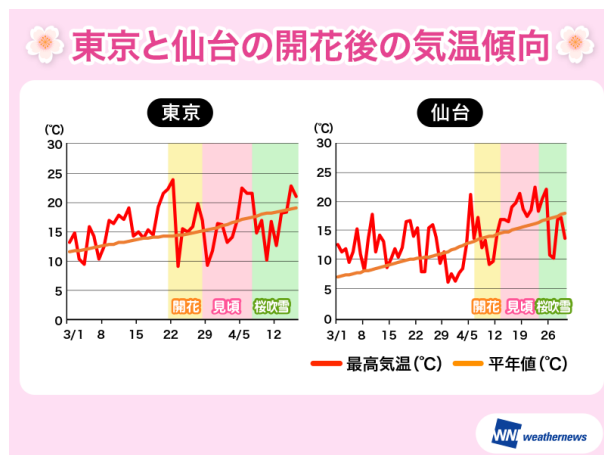
まだら咲きは桜の見栄えにも影響していたようで、「今年の桜はきれいだった？」という質問に、“例年以上にキレイ”“例年並”“あまりキレイではない”の3択で回答していただくと、関東や東海、近畿では“あまりキレイではない”という回答が昨年よりも5～9%増え、10%を超える結果となりました。桜がまだらに咲いたことで、“あまりキレイではない”と感じた方が増えたようです。



◆今年の桜の開花と見頃時期の天気の特徴

～寒の戻りで桜が長持ち、一方でまだらな咲き方に～

3月19日に舞鶴公園(福岡県)からスタートした今年の桜の開花は、開花の早かった昨年と比べると遅いものの、例年並となりました。東京の気温傾向をみると、開花前の3月中旬は平年よりも暖かい日が続き、20℃を超えた日もありました。この暖かさでつぼみの生長が進み、順調に開花を迎えました。しかし、開花後は数度に渡って強い寒気が流れ込み、関東北部の山沿いでは雪の降るような寒さとなった日もありました。この寒さの影響で、桜の生長が緩やかに進み、見頃期間が長く続いたものの、一気に咲き揃わずにまだらな咲き方になったと考えられます。



“まだら咲きしていない”と回答した方が多かった仙台の気温傾向を見てみると、開花前は冷え込んだものの、開花を迎えてからは平年よりも暖かい日が多く、桜の花はまだら咲きせず一気に咲き揃ったと考えられます。このように、今年は、開花後の気温に桜の見栄えが大きく左右されたと言えます。

◆参考

お花見の回数(回)			まだら咲きしている割合(%)			桜があまりキレイではなかった割合(%)		
1位	高知	2.4	1位	千葉	79	1位	和歌山	20
2位	山形	2.2	2位	東京	78	1位	鹿児島	20
3位	佐賀	2.1	2位	宮崎	78	3位	静岡	15
4位	島根	2	4位	神奈川	77	3位	岡山	15
5位	熊本	1.9	5位	愛知	76	5位	愛知	14
5位	群馬	1.9	6位	埼玉	75	5位	大阪	14
5位	福岡	1.9	7位	和歌山	74	5位	宮崎	14
5位	滋賀	1.9	8位	三重	73	8位	岐阜	13
9位	東京	1.8	8位	京都	73	9位	千葉	12
9位	石川	1.8	10位	静岡	72	9位	東京	12
9位	山梨	1.8	10位	大阪	72	9位	神奈川	12
9位	福島	1.8	10位	奈良	72	9位	奈良	12
9位	新潟	1.8	10位	島根	72	13位	福井	11
9位	長野	1.8	14位	徳島	71	13位	山梨	11
15位	神奈川	1.7	14位	鹿児島	71	13位	京都	11
15位	奈良	1.7	16位	茨城	70	13位	島根	11
17位	秋田	1.6	17位	広島	69	17位	三重	10
17位	長崎	1.6	17位	愛媛	69	17位	滋賀	10
17位	京都	1.6	17位	福岡	69	17位	兵庫	10
17位	和歌山	1.6	20位	岐阜	68	17位	愛媛	10
17位	香川	1.6	21位	山口	66	17位	高知	10
17位	大阪	1.6	21位	佐賀	66	22位	埼玉	9
23位	千葉	1.5	23位	兵庫	65	22位	広島	9
23位	宮崎	1.5	24位	山梨	64	24位	山口	8
23位	山口	1.5	25位	北海道	63	25位	福岡	7
23位	徳島	1.5	25位	鳥取	63	25位	佐賀	7
23位	埼玉	1.5	25位	香川	63	27位	茨城	6
23位	茨城	1.5	28位	栃木	62	27位	富山	6
23位	栃木	1.5	28位	福井	62	27位	長野	6
23位	鹿児島	1.5	28位	岡山	62	27位	徳島	6
31位	岐阜	1.4	31位	高知	61	27位	熊本	6
31位	兵庫	1.4	31位	長崎	61	32位	福島	5
31位	愛知	1.4	31位	熊本	61	32位	栃木	5
31位	広島	1.4	34位	滋賀	59	34位	宮城	4
31位	静岡	1.4	35位	群馬	56	34位	山形	4
36位	福井	1.3	36位	青森	52	34位	新潟	4
36位	岡山	1.3	37位	石川	50	34位	香川	4
36位	富山	1.3	37位	大分	50	34位	長崎	4
39位	宮城	1.2	39位	富山	48	34位	大分	4
40位	青森	1.1	40位	岩手	46	40位	北海道	3
40位	愛媛	1.1	41位	新潟	44	40位	秋田	3
40位	三重	1.1	42位	秋田	42	40位	群馬	3
43位	北海道	1	43位	長野	41	43位	岩手	2
44位	岩手	0.9	44位	山形	38	44位	青森	0
44位	鳥取	0.9	45位	宮城	35	44位	石川	0
46位	大分	0.7	46位	福島	28	44位	鳥取	0
	全国平均	1.6		全国平均	69		全国平均	12